

うき福祉村 全景



出口グループ
社会福祉法人寿光会のご紹介



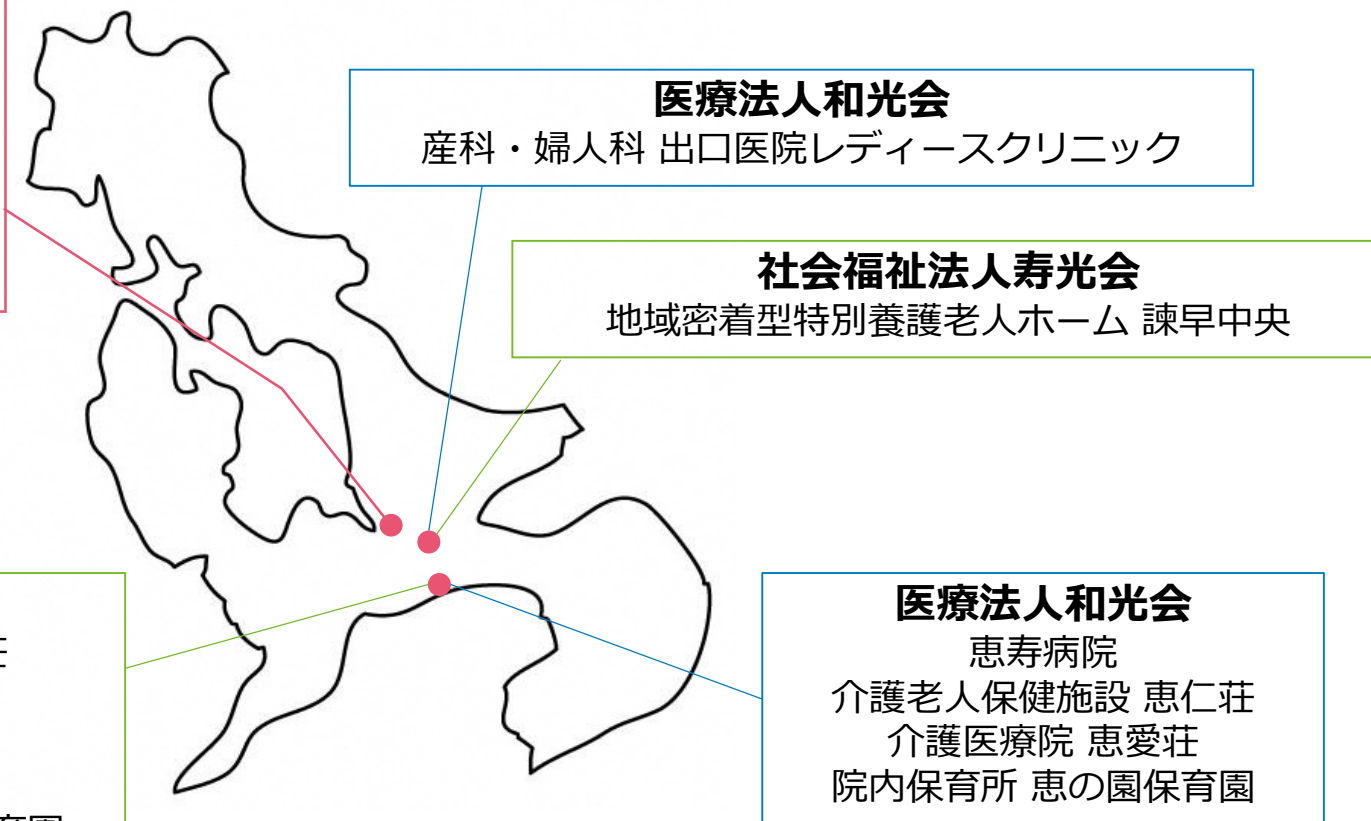
私たちは、ユースエール認定企業です。

出口グループ紹介



地域密着型特別養護老人ホーム
「諫早ニュータウン」
令和2年8月開設

諫早市白岩町に
地域密着型特養を建設しました。



社会福祉法人寿光会
特別養護老人ホーム 天恵荘
養護老人ホーム 福寿園
盲養護老人ホーム 光明荘
グループホーム 恵
企業主導型保育所 うきうき保育園

社会福祉法人 寿光会が提供しているサービス

天恵荘

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 通所介護
- ・ グループホーム
- ・ 短期入所生活介護

諫早ニュータウン

- ・ 特別養護老人ホーム
- ・ 訪問介護
- ・ 短期入所生活介護
- ・ 研修センター

福寿園

- ・ 養護老人ホーム
- ・ 短期入所生活介護

光明荘

- ・ 盲養護老人ホーム
- ・ 短期入所生活介護

うきうき保育園

- ・ 企業主導型保育所

特別養護老人ホーム 諫早中央

開設平成26年8月

入居定員29床（併設短期入所生活介護10床）

ユニット型の施設で全室個室

※事業所内に居宅介護支援事業所（介護支援専門員4名）

【入居者平均介護度】 3.9（男性5名、女性24名）

【平均年齢】 90歳

【勤務スタッフ】

男性11名、女性27名

19歳～75歳 平均年齢45歳



出口グループ

さまざまな取り組みを行う際大切にしている事

【基本理念】

利用者、職員そして地域の幸せを追求します。

諫早中央における介護ロボット・ICT活用、取り組み

開設時導入（開設 平成26年8月）

品名	メーカー
介護ソフト「ほのぼの」	NDソフト
個牒α	メトス
移動式移乗リフト	パラマウントベッド
離床CATCH	パラマウントベッド

開設後導入（令和3年8月移行導入）

- ・介護ソフト「ブルーオーシャン」（ブルーオーシャン）

介護ロボット・ICT導入や活用について検討する場

リーダー会議（月1回開催）

- 【参加者】 ○施設長 ○入居部長（看護師） ○生活相談員
○各ユニットリーダー

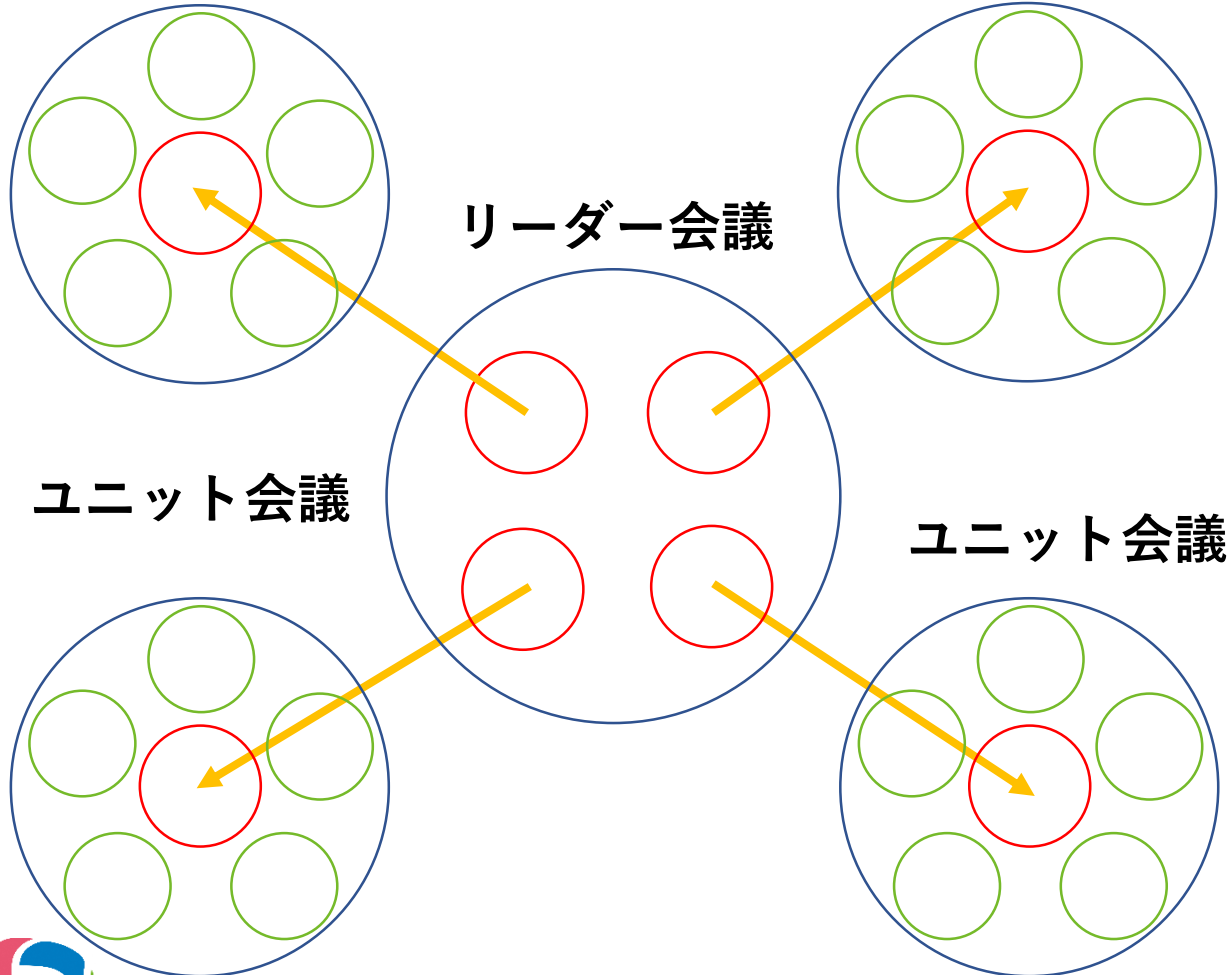
会議内で現状困っている事や改善したい事なども話し合う
その中でICTや介護ロボットについて検討行う
又、施設で取り入れたい物などあれば提案を行う
もちろん費用対効果や必要性などは十分協議する

管理職や各ユニットリーダーでの会議となる為、決定権を持って話し合いが出来る

導入の際注意している事

ユニット会議

ユニット会議



ユニット会議

ユニット会議

- 導入の目的や経緯、注意点などを各リーダーからそれぞれのユニットスタッフに説明する
(例えばリフトと対象になる方の考え方や離床センサーの使用期間など)
- 使用対象になる方かどうかは介護職だけで判断するのではなく専門職の意見を参考にする
又、ご家族への説明も行う

導入における効果を確認する事で
職員へのメリットを認識する事も重要

導入の目的と効果①

介護記録ソフト“ほのぼの”

↳ ○多職種を含め情報共有を円滑にする為

効果

入居者・利用者に関する情報を一元化し多職種で共有できる為情報伝達が行いやすくなった。又、多職種で記録する事でより質の高いケアにつながった。

リフト付き個浴浴槽“個粋α”

↳ ○安全にそして職員・入居者、利用者双方の負担を軽減の為

効果

リフト導入により双方の負担が軽減した。職員の腰痛も減った。
又、安心・安全に入浴できる事でリラックス出来る入浴が可能となった。

導入の目的と効果②

移動式移乗リフト

↳ ○重度化が進み立位が難しい方が増えてきている中で安全に移乗を行う為

効果

職員の身体的負担軽減し腰痛も減った。そして、入居者・利用者の負担も減った。
又、機械を使う事に当初不安や抵抗もあったが双方が安心して移乗出来るようになった。

離床CATCH

↳ ○入居者、利用者のリズムを把握し、事故リスク軽減の為

効果

離床が把握出来る為、事故の未然防止ができるようになった。
又、起床時間、離床のタイミング・排泄のタイミングの把握につながりより質の高い個別ケア提供ができるようになった。

(事例) ブルーオーシャンへの移行①

“ほのぼの”を使用していたが、法人内の他特養がブルーオーシャンを使用していた。

実際に使用している施設から下記のような意見を聞き移行を決めた。

- 様式などを自施設に合わせた物に変更できる可能性がある
- スマートフォンを使用出来るのでタイムリーに記録が出来る
- 画像などを使用出来る為より分かりやすい記録が出来る
- 特養3施設で記録や情報を共有する事でより質の高いケアが出来る

(事例) ブルーオーシャンへの移行②

移行に関する不安

- 移行そのものに対する抵抗感
- ソフトが変わる事での操作方法などに対する不安
- 移行に伴い再度新しい事を覚えないといけないストレス

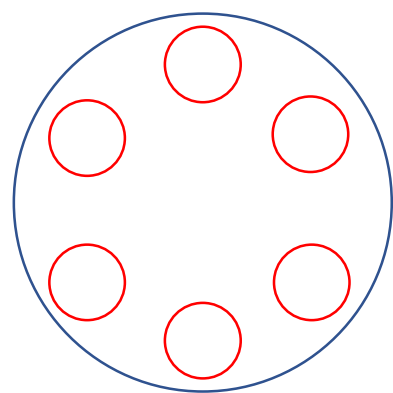
介護ソフト移行のフォロー①

導入前 ~ ○システム業者による使用方法や機能説明

○委員会の立ち上げ

【委員構成】各ユニットから1人、看護師、生活相談員

各ユニット・セクションから選出する事で疑問や不安を
吸い上げやすくすると共に委員がユニット内のICT・記録の
責任者としての役割を期待した

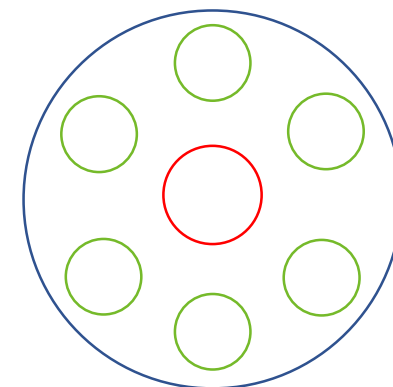


記録委員会

疑問・不安など



検討内容や解決策



各ユニット・セクショングループ

介護ソフト移行のフォロー②

導入後～ ○上記委員会“記録委員会”を月1回開催

使用した上でのそれぞれのユニットでの疑問や質問を
各委員が持ち寄る事で施設全体の問題として検討した
決定事項は議事録や各委員からそれぞれのユニットへ伝える

※業者へ確認が必要な事は生活相談員が確認し内容を伝える

